

# 令和5年度事業報告

## I. 事業概要

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の変更が行われ令和5年5月8日から5類感染症に移行となり、シルバー人材センターの行事も通常どおり開催できるようになり以前の賑わいが戻ったように感じます。国内では、令和6年1月1日石川県能登地方を震源とした能登半島地震が発生し、最大約4メートルも隆起し道路や水道管などが甚大な被害を受け、火災の被害も拡大しました。また、道路が寸断されたため、インフラや住居の再建にはまだまだ時間がかかる状況です。国外では、ロシアのウクライナの侵攻が継続する中、イスラム組織のハマスによるイスラエルへの攻撃も勃発するなど、緊迫した世界情勢となっています。このような現況の中、会員の拡大については、近年の定年延長、定年後の生き方の多様化などで、新規入会者の確保が依然厳しい状況となっています。

愛西市シルバー人材センターにおいては、公共施設・民間事業所の請負・派遣業務の受注・勤務は令和4年度に比べ4%の増となりました。また、各個人宅からの申込は、ほぼ従来通りあり、請負事業の就業件数は、3,225件(対前年比37件、1.1%増)、配分金は1億3,363万円(対前年比488万円、3.8%増)、労働者派遣事業の就業延人員は1,253人日(対前年比17人日、1.4%増)、契約金額は、619万円(対前年比7万円、1.1%増)となりました。

各種事業についても、愛知県シルバー人材センター連合会の研修会を始め6月27日開催した令和5年度定時総会等、年度当初に計画した事業を開催することができました。

新規入会者につきましては、入会説明会を本所または佐屋支所において毎月開催し、毎月の「広報あいさい」の記事で開催案内をすることで、功を奏し1年間で31名(対前年比0名)の方の新規入会とすることができました。退会者につきましては37名(対前年比11名増)となり令和5年度末の会員数は225名(対前年比6名減)となりました。詳しい事業内容につきましては次ページ以降に記載のとおりです。

当センターにおきましては、今後とも市民を始め、市当局並びに事業所、会員の皆様から信頼されるセンターと更なる組織の強化を目指し、会員及び役職員が一体となって鋭意努力してまいりますので、ご理解と支援を賜りますようお願いいたしまして、令和5年度の事業報告といたします。